



こんにちは♪

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです!

民主苦小牧号外

2026年

2.15

No.1129



## 市民の力で憲法を守ろう

今回の総選挙では、応援いただいたみなさんに大変申し訳ない気持ちです。良い結果を出すことができなかったのは、私たちの力のなさです。党中央委員会は「選挙結果から深い教訓を引き出し、次の機会には捲土重来を果たす決意です」と発表しました。私もその思いです。

マスコミは、「高市一強」とか「高市旋風」と言っていました。投票の結果では、国民が投票した総数のうち、自民党が得た票は約37%だけでした。それでも3分の2の議席を得たのですから、選挙制度に大きな問題があります。しかも裏金候補45人のうち43人も当選です。

SNS上での関心度について、時事通信の分析では、選挙中盤までは消費税がトップでしたが、終盤では安全保障や憲法問題が大きく伸びたということです。

2日に高市氏が応援演説で「憲法改正もやらせてほしい」と発言したことで、「改憲をして“普通の国”になろう」という投稿が広がる一方で、「ママ、戦争を止めてくるわ」との投稿が、共感得て大きく広がったそうです。

自民党は、改憲に必要な3分の2の議席を得たことで、改憲の提案ができるようになりました。自衛隊を「国防軍」と位置づけて憲法に書き込み、「交戦権は保持しない」という条文を削除することが高市氏の考えです。これが“普通の国”なのでしょう。

高市氏は「国論が二分することにも挑戦する」と言っており、憲法を変えることも、そのための大軍拡計画も、非核三原則の見直しも狙っています。『防衛白書』ですら、専守防衛が基本であること、軍事大国にならないこと、非核三原則を堅持すること、自衛力は最小限度であること、交戦権は認められないことなどを明確しています。平和憲法があるからです。高市氏がやろうとしていることは、これらの方針を全て投げ捨てることです。

私は、自民党が圧勝したことに強い危機感を抱いています。「自分が総理大臣でよいかどう選んでもらう選挙」と言っていたように、「勝ったんだから好きにさせてもらいます」と、危険な方向に加速するのではないかと。

まもなく2月議会です。私たち会派の代表質問は、“平和”をテーマにし、地方議会から平和の声を発信したいと思います。同時に、市民のみなさんと憲法を守るたたかいの輪を広げていきたいと考えています。